

高知県 PTA 新聞

〈発行所〉
高知県小中学校 PTA 連合会
塩見記念青少年プラザ内
高知市小津町6-4
TEL 802-7004
FAX 802-7009
E-mail
ken-p@kochi-pta.com

〈発行責任者〉
仙頭竜太
広報委員会

第五十三回 日本PTA四国ブロック

研究大会徳島大会に参加して

高知県小中学校PTA連合会副会長 中屋康一郎



私は令和六年十一月十七日に徳島県藍住町の藍住町総合文化ホールにて開催された第五十三回日本PTA四国ブロック研究大会徳島大会に参加しました。この大会は四国のPTA関係者が一堂に会し、日々の活動の活性化に向けてさまざまな実践や情報を共有するものです。今回のメインテーマは「未来へ響け！ツナガリの輪！」PTAがあなたのために今できることとしました。

新しく、美しい藍住町総合文化ホールに入ると、徳島県小中学校PTA連合会のみなさまが温かく迎えてくださいました。高知県エリアには、PTAの会で会ったことのある、顔なじみの方々が何人かいらしていて安心しました。

オープニングは、阿南市立阿南第二中学校ジャズバンド部による演奏でした。小気味良いリズムに胸の高鳴りを覚えました。同時に立ちあがりたり、同じ方向を向いたりしながらの息がぴったり合った演奏で、どれだけの練習を積み重ねてきたのだろうと感心するとともに、保護者の方々が、部活動の練習を食や生活管理を通して支えてきたのだらうと思うと頭がさがる思いでした。若い力を感ぜさせる演奏はオープニングにぴったりでした。

開会行事では、愛媛県PTA連合会会長のあいさつ、四国ブロックPTA協議会会長のあいさつがありました。お二人のあいさつのなかには、「持続可能なPTA活動を継続していくには、多くの仲間とともに挑戦し続けていくことが重要である」という共通点がありました。

基調講演においては、鳴門教育大学大学院教授 葛西真記子氏が登壇され、「子どもたちが元気で幸せでいられるために親ができること」といじめや不登校のない学校生活を送れるように」という演題でお話ししてくださいました。コロナ後、不登校が増加しているということや親の不安が子どもにうつっていくという話

がとくに印象に残りました。また、予測できない未来に対応するためには、社会の変化を受け身で対処するのではなく、主体的に向き合っていくことが、一人ひとりが自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会を築いていくこととすることが重要であるということについても深い感慨を覚えました。

葛西教授の講演のなかで、ぜひ、高知県内のPTAのみなさまと共有したいと思った言葉を箇条書きにて記したいと思います。

- 絶対に失敗しない、理想的な子育てはない。うまくいかなかったらやり直せば良い。
- どんなことがあっても私は大丈夫、生きていけると思うような強い子を育てる。
- 目標を小割にしてサポートする。
- 何もしていないように見える時間を大切に作る。
- 子どもを親のストレスのはけ口にしない。
- 栄養、睡眠、適度な運動に気を配る。
- リラックスする方法を教える。
- 保護者や先生もストレス発散をする。

この他にも、多様な背景を持つ児童生徒へのアセスメントに基づく対応が求められているということで、LGBTQ+についての話がありました。LGBTQ+とは、セクシャルマイノリティ(性的少数者)の総称の一つだそうです。十一月三〇日には、高知市で、LGBTQ+のことをもっと知ってほしいという目的で、パレードが行われたところでした。葛西教授の話をお聞きして、一人ひとりが自分らしく生きていける世のなかでありたいと強く感じました。



講演が終わった後は、「いのちと夢のコンサート」と題して、合唱作曲家 弓削田健介氏によるコンサートが行われました。弓削田氏は、合唱作曲家であるとともに、子どもミュージカル作家です。二〇二〇年からは、音楽の教科書に弓削田氏の楽曲が掲載されているそうです。全国各地を回っており、高知県にも来られたことがあるそうです。澄んだ歌声や心に響く歌詞、歌の合間の軽妙なトークは、みるみるうちに、ホール全体を一つにしました。弓削田氏の出会いはまた、私の世界を広げてくれました。みなさまもぜひ、YouTube「弓削田健介のゆげチャンネル」『世界を旅する音楽室』をチェックしてみてください。

今年はいよいよ、高知大会です。高知県のPTAが一体となって、子どもたちの育ちを支えていこうと改めて思いました。

東京海上日動火災保険株式会社

高知支店・高知支社

〒780-0870 高知市本町4-1-16 高知電気ビル6階 TEL088-823-2575

損害保険ジャパン株式会社 高知中央支社 〒780-0870 高知市本町2-1-6 TEL088-822-6202